

INFO 1

パーラー東開町2丁目

パーラー東開町2丁目では、この秋から積極的にイベントを開催しています。子育てを応援する「つながりカフェ」や、福祉を起点に多様な方と出会い語り合うトークシリーズを通じて赤ちゃんから大人まで様々な方に来店、交流いただいています。また、11月からは新メニュー《シーフードとチキンのドリアセット》もスタート。野布瀬農園の「ななつぼし」を洋食でもお楽しみいただけるようになりました。

パワーアップしたパーラー東開町2丁目に、是非遊びに来てください。



●今後のイベント開催予定

2/16(日) 「人が語る、人と語る。暮らしのこと、わたしのこと。」
11:00-12:00 vol.5]ゲスト:桑島恵さん(北海道きょうだいの会)

2/20(木) 「こそだて応援企画つながりカフェ〜
10:30-11:30 こどもの年齢にあわせた絵本選び〜」



詳細は東開文化交流サロンHPをご確認ください

INFO 2

Pâtisserie Ruelle

バレンタインデー商品のお知らせ

昨年はたくさんのクリスマスケーキのご予約、ご来店ありがとうございました。毎年お買い求めいただいているお客様や初めてのお客様など、さまざまな嬉しいお声をいただき、スタッフの励みとなりました。

新年も明けて、もうすぐ2月のバレンタインデーの季節が近づいてきました。贈り物としてはもちろん、最近では自分用に購入するお客様も多い印象です。

そこで、今年は1~2人用の小さなホールケーキをチョコクリームで仕上げた商品や、カットケーキでは少しピターなオペラ、焼き菓子にもチョコレートを使用した商品を販売いたします。大切な人への贈り物に、日頃頑張っている自分へのご褒美にいかがでしょうか。



Donation 寄付について

ゆうゆうの活動にご支援をお願いします

●社会福祉法人への寄付について

私たちの考え方、事業に共感していただける皆さまからのご寄付を受け付けています。超少子高齢・人口減少社会などの社会課題に対し、「ひとりの想い」を大切にする福祉実践を展開し継続した活動をするためには、皆さまの力が必要です。ぜひ活動へのご支援をお願いします。

1 個人の場合 2 法人の場合 3 相続による寄付の場合

所得税の寄付金控除または税額控除が受けられます。

一般の寄付金とは別枠で、法人税法上の損金算入ができます。

租税特別措置法により相続税が非課税となることがありますのでご相談ください。
※個人で適用を受けるためには確定申告が必要です。

領収書について

寄付金控除を受けるには、「寄付金」の但し書きのある領収書が必要です。当法人発行の領収書をご希望の方は、お電話又はWEBお問い合わせフォームからご依頼ください。

TEL:0133-22-2896
<https://yu-yu.or.jp/contact/>



ゆうゆうの今を伝える広報紙



YOU YOU MAGAZINE

ゆうゆうマガジン



生活介護によきよき支援風景

YOU YOU MAGAZINE 2025/2 AUTUMN-WINTER

デザイン/株式会社ブリオンデ 山崎啓太郎 発行/社会福祉法人ゆうゆう 広報 tel:0133-22-2896 mail:info@yu-yu.or.jp

2025 / 2 AUTUMN-WINTER



芸術文化推進室より2月ステージイベントのお知らせ

盛りだくさんだった秋の아트展は大盛況のうちに終了することができました。ご協力くださったみなさま、ありがとうございました!ただ今芸術文化推進室では冬のステージイベントを準備中です。

ゴーオンステージ vol.1

北海道でダンスや音楽などに取り組む障がいのある方のためのステージ発表会として、この度初開催するものです。出演者を募集したところ10組の応募がありました!ヒップホップやフラなどのダンス、音楽も和太鼓、ポップス演歌、そしてクラシックとジャンルは多岐にわたります。すでにいろいろなところで活躍している実力派揃いで、多彩な表現が集まる見応えのあるステージになりそうです。ぜひぜひ!お問い合わせの上ご来場ください!



ゴーオンステージ vol.1



アールブリュット推進センター Gently YouTubeチャンネル

2025年2月11日(火・祝)
開場12:30 開演13:00

会場:札幌市教育文化会館 小ホール(札幌市中央区北1条西13丁目)
入場無料、全席自由

出演:H.C.M(ダンス)、北ひろしま勇太鼓(和太鼓)、御飯(ポップス演歌)、佐々木あおい(ピアノ・電子音楽)、福井大輝/スマイリーだいち(電子オルガン)、武田憲宗(ヴァイオリン)、Na Hoa Hula Anela Lima クラス(フラダンス)、ひがし町パーカッションアンサンブル(即興音楽)、北海道白樺高等養護学校 太鼓部(和太鼓)、和太鼓サークル嵐(獅子舞・手作り太鼓)

アール・ブリュットショウケース2024オンライン

7回目となる今年度は、YouTubeでのオンライン開催です。北海道・北東北のみなさんから寄せいただく動画を2月5日(水)より公開します。チャンネル登録をよろしくお願いします!

福祉教育フォーラム「じぶん探究会議」

12月22日に福祉教育フォーラム「じぶん探究会議」を開催しました。福祉分野や福祉教育に興味を持つ高校生・大学生が集まり、「じぶん」「他者」「生きること」について語り合いました。さらに、こども・社会・福祉に携わる専門家、ジャーナリストをお招きし、若者の声を聴き、福祉教育の役割や価値、そしてこれからの社会で若者をどう支えていくかについて議論しました。6名の若者がこれまで抱えていたリアルな悩みや不安にどのように向き合い、行動を起こしてきたかを発表しました。「身体が不安を欲していると考え、不安に対してズボラになろうと整理ができた」「誰でも人生のどこかで必ず自分の中の障がいに会おうのではないか。それがいつ来るかはわからないけど自分らしくあれたら」と語りました。講師の方からは「熱く光り輝く若者の福祉への想いが消えてしまわないように、国の制度として応えていきたい」など、それぞれの立場から若者の話を受け止め向き合いました。会場参加者からは、自分と同じように悩んでいた同世代の存在を知ることで、一人ではないと感じたり、がんばろうと思えたという感想をいただきました。多様な想いを抱える若者たちが、「じぶん」と向き合う機会となったのではないかと思います。



人と人との交流を創るわたなベストア

10月26日に大麻銀座商店街で開催されたブックストリートに合わせて、地域の福祉団体や子育てサークルと協力し、わたなベストアを利用したイベントを実施しました。kaedeの子どもたちも“おしごと”体験として、準備や野布瀬の米、野菜、パンなどの販売を手伝いました。当日は多くの方々を訪れ、小さなお子様から高齢者まで幅広い年齢層の方々からわたなベストアを行き来する光景が見られました。今後も多くの方が気軽に訪れることができるよう、交流の機会を増やしていきたいと考えています。



東京への旅行サービスの実施

この度、ヘルパーステーションajisaiでは、移動支援とパーソナルアシスタントサービス(自費サービス版)を組み合わせ初めの旅行サービスを実施し、2泊3日の東京旅行へ利用者さんと彼女の母さまに同行させていただきました。乗りなれない飛行機や東京の人込み、度重なる電車の乗り換えなど慣れない状況もありましたが、秋晴れの心地よいお天気のおかげで無事に旅行を終え、北海道に帰って来られたことには、非常に安堵の気持ちで一杯です。かねてより、東京のゲームセンターとサンリオピューロランドに行きたいとおっしゃっていました利用者さんですが、旅行の最後には「さよなら東京!たくさんさんの思い出をありがとう!!」とおっしゃっており、彼女にとってよい思い出となったこと、とても嬉しく思います。



食事をさらに楽しく!

〜によきによきのスペシャルランチ〜

12月、によきによきでは栄養士さんとスタッフが考案した特別メニューを昼食時に提供しました!メニューは自分好みにカスタマイズできるハンバーガー、フライドポテト、チキンナゲット、野菜スープ、イチゴのケーキの5品です。スタッフがその場で焼き上げたお肉とパンズを使い、焼ける音が食欲をそそりました。ハンバーガーのトッピングは各自の好みに合わせて楽しみました。「食事をさらに楽しく」をテーマに、以前好評だったハンバーガーを再び提供し、食後は「次はいつ?」と期待の声が多く寄せられました。今後も、によきによきは利用者の皆さまに楽しんでいただけるイベントを企画して参ります。



参加者も内容もごちゃ混ぜなサロン

12月25日にクリスマス会&忘年会を開催しました。ぺこぺこのはたけの豪華なクリスマスオードブルだけでなく、お餅をついてお雑煮も作り、くじ引き大会の参加賞はお正月飾りと内容もごちゃ混ぜでした。最近のごちゃ混ぜサロンは、子どもたちが集まる「ゆうゆう塾」と一緒に開催することが多く、世代を超えた交流が自然と生まれ、ほっこり笑顔が溢れます。ベテラン料理家の参加者のみなさんがお餅やお雑煮を手際よく作っていく中、若者たちは必死に見て教わります。お腹も膨れてきた頃のかくじ引き大会では、この日参加できなかった方が手作りの品を用意してくださり、他にも自家製の漬物を持ってきてくださった参加者や、小さなクリスマスプレゼントを全員に用意してくださった学生さんなど、たくさんの人の想いが詰まった華やかな会となりました。



サポートクラブぺこちゃん~楽しいクリスマス会~

12月21日(土)ぺこぺこのはたけ恒例のイベント、クリスマス会が大勢の親子ずれの参加者で賑やかに開催されました。木の枝で作るサンタクロースの出来栄に満足する間もなく、続いてグループでのケーキ作り、個性豊かに仕上がったところで美味しく頂きました。楽しい歌声が広がるなかサンタさんからのプレゼント、盛り上がったところで散会となりました。近くに住む人たちと一緒に楽しむためのイベントを企画実行して、その輪が回を重ねるごとに大きく広がっていくことはサポートクラブぺこちゃんの最大の喜びです。昨年初めて行った野布瀬の森の遊びには85名の参加者が集まりました。種まき、収穫祭、夏祭り、雪まつり等々その賑わいには私達サポーターもたくさん元気を貰っています。顔なじみの参加者も増えてきました。町で出会ったときお互いに笑顔で声をかけあえる地域になると嬉しいですね。(サポートクラブぺこちゃん 五賀利雄記)



人生を自分で決める~意思決定支援を学ぶ会~

5月に実施した保護者説明会において、とりわけ成人期の利用者さんの今後の人生において、親御さんの立場から、不安に思われていることがたくさんあるとお聞きしました。例えば、お金の管理、健康の管理、衣食住の選択…つまりはご本人がどう生きたいかを決めていくサポートが必要となると考え、主に成人期サービス関わる職員11名で勉強会を発足しました。果たして現状、ご本人の意思をどこまで汲み取れているのだろうか?はたまた選択する機会を作れているのだろうか?という疑問がたくさんありました。そして一番は「何から学べばいいかわからない」という課題にいきつききました。公的な制度を勉強したり、権利擁護に長けている講師に話を聞いたり、情報収集をメインに、試行錯誤しながら勉強中です。



医療的ケアの技術と実践を学ぶことができました

医療的ケアのニーズの高まりを受け、医療法人稲生会さんで、3か月間医療的ケアの研修を受けてきました。医療的ケアとは、人工呼吸器での呼吸管理や喀痰吸引などの医療行為を指します。研修では、医療的ケアが必要な子たちの日中預かりを行っているところで主に勤務し、医療行為に携わりつつ、活動や外出などにも関わらせてもらいました。研修を通じて、医療的ケアが実施できるだけでなく、状態のアセスメントをして必要なケアを判断できることが重要だと感じました。また、成長や発達を見据えて、医療をベースに様々なことにチャレンジしていく実践を目の当たりにしました。呼吸器を使っている子が、安全に配慮したうえですべり方を滑っていた場面は忘れられません。これからも、医療的ケアが必要な方の生活を支えることはもちろん、いま関わっている利用者のみなさまの健康を支えることにも、看護の視点を活かしていけるよう、より一層研鑽を積んでいきます。

